

電 気 関 係 事 故 報 告（記載例）

※中間報告の場合、「電気関係事故報告（中間報告）」と記載してください。

（事業場番号 ）

令和 2 年 9 月 2 5 日

中部近畿産業保安監督部長 殿

住所 〒○○○－○○○○
 ○○県○○市○○区○○ ○丁目○番地

事業者名 ○○株式会社

代表者名 代表取締役 ○○ ○○

電気主任技術者名 ○○ ○○

※報告者は「事故発生 of 電気工作物」の設置者名を記載してください。

※報告内容について設置者又は所有者・占有者が確認を行い、当支部に提出ください。

電気関係報告規則第 3 条の規定により、次のとおり電気事故について報告します。

備考：用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
様式第13

電 気 関 係 事 故 報 告

1. 件名：〇〇送配電（株） 〇〇変電所 〇〇配電線への波及事故 ※発生した電気事故の件名を次の要領により記載します。 感電死傷事故だと「作業者（又は公衆）感電死亡（又は負傷）事故」 破損事故は「〇〇発（変）電所 [主要電気工作物名] 破損事故」 波及事故「〇〇電力送配電（株） 〇〇変電所 〇〇配電線への波及事故」 ※その他の事故の場合「事故内容を表す件名」を簡潔に記載します。
2. 報告事業者【業種を含む】 1) 事業者名（電気工作物の設置者名）： 〇〇株式会社 〇〇工場（業種：〇〇業） 2) 住所： 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇 〇丁目〇番地 ※電気工作物の設置者の名称及び住所（設置者が法人の場合は本社の所在地）を記載します。
3. 発生日時：令和2年9月1日（火）午前9時15分（天候：晴れ） （覚知日時：令和2年9月2日（水）午前10時00分） 【天候を含む】 ※電気事故の発生した日時（年月日時分）を記載します。事故を知った日（覚知日）が事故発生日と異なる場合、併記します。 ※事故発生時の天候（晴・曇・雨・雪・霧・風等）を記載します。
4. 事故発生の電気工作物（設置場所、使用電圧）： 高圧地中引込みケーブル（CVT E-T） 製造会社：〇〇 製造年：〇〇年製 設置場所：〇〇県〇〇市〇〇区〇〇 〇丁目〇番地 〇〇株式会社 〇〇工場 受電用キュービクル内 ～ 構内第1柱 事故点の場所：ハンドホール内部 使用電圧：6,600V （受電電圧：6,600V、受電電力：500kW） 【受電電圧、受電電力を含む】

※事故発生 of 電気工作物の名称及び使用電圧、電気工作物を設置している事業場の名称及び所在地を記載します。

※事業場の受電電圧、受電電力もあわせて記載します。

※電気工作物の概要については、故障、損傷、破壊等の被害を受けた電気工作物の種類、定格電圧、定格容量、製作年月、製作会社等を記載します。

5. 状況：

R2.9.1 9:15 事故発生

〇〇送配電(株)〇〇変電所67G動作、CBトリップ

9:16 再閉路不成功

10:29 当事業所を除き再閉路成功

16:00 仮復旧し受電完了

R2.9.16 15:30 本復旧完了

※次の各項のうち事故に関係あるものについて記載します。様式中に入りきらない場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙（様式自由）として添付してください。

事故発生前の状況

気象、関係電気工作物の施設状況、保守点検の状況（年次点検及び月次点検の記録等）、運転の状況、作業の状況、その他。なお、感電事故の場合には、作業の状況として、作業体制、作業指示状況、被災者の服装、活線作業方法等についても記載します。

事故発生の経緯

事故発生、拡大の電氣的及び時間的経緯、保護装置の動作状況、事故連絡及び対応状況、その他。

電気工作物の被害の程度、被害の種類及び数量

（種類） 破損、折損、倒壊、傾斜、焼損、断線等

（数量） 台数、基数、条数、個数、式、組等

6. 原因：原因分類：保守不備（大分類）、保守不完全（小分類）

高圧地中引込みケーブルで地絡が発生した。出迎え方式で事故点が保護範囲外であったため、波及事故に至った。メーカーによる調査の結果、地絡の原因は水トリートと推定される（詳細は別添1 メーカー調査報告書を参照）。なお、保安規程で毎年停電点検の実施を定めていたが、昨年度は実施していなかった。また、3年前の年次点検から高圧地中引込みケーブルに絶縁不良が見つかったが、未改修のままであり、改修の計画も無かった。

※1行目は、別表「原因分類表」1～3に基づき、原因区分を記載します。

（例 波及事故の場合）【故意・過失－作業者の過失】など

（例 感電事故の場合）【感電（公衆）－被害者の過失】など

※2行目以降で、原因の詳細について記載します。（記載内容が多岐にわたる場合

は別紙に記載可)

7. 被害状況

1) 死傷： 有・**無**【性別、年齢、作業経験年数を含む】

内容：

2) 火災： 有・**無**

内容：

3) 供給支障：**有**(供給支障電力：1,220kW、供給支障時間：74分)・無

内容：

4) その他(上記以外の他に及ぼした障害)【保護継電器動作の適否を含む】

内容：

※次の各項のうち事故に関係あるものについて「有」を選択してその内容を記載し、関係ないものについては「無」を選択します。

※死傷が「有」の場合、被災者の被災程度、入院・加療状況、その他。被災者の性別、年齢、作業経験年数も記載します。

※火災が「有」の場合、火災による焼損状況等を記載します。

※供給支障が「有」の場合、供給支障電力、供給支障時間等を記載します。

8. 復旧日時：

仮復旧日時：令和2年9月1日(火) 16:00

本復旧日時：令和2年9月15日(火) 15:30

※仮復旧と本復旧別に記載します。

9. 防止対策：

- ・今後、保安規程を遵守(毎年停電点検を実施)して事故防止に努める。
- ・高圧引込みケーブルの推奨耐用年数と点検結果等を鑑みて計画的に機器更新を実施する。
- ・PASを設置する。

※事故について検討した結果、同種の事故の再発及び拡大を防止するために実施した(する)対策を具体的に記載する(記載内容が多岐にわたる場合は別紙に記載可)。

10. 主任技術者の氏名及び所属(保安管理業務外部委託承認がある場合は、委託先情報)：

【資格・選任区分も含む】

〇〇 〇〇(所属：〇〇電気保安 〇〇営業所)

資格：第〇種電気主任技術者免状、選任区分：外部委託(電気保安法人)

免状番号：〇〇-〇〇〇〇

※主任技術者の氏名及び所属部課、役職を記載する。外部委託の場合は外部委託先名（管理技術者名、法人にあっては法人名および従事者名）を記載する。また、資格（例：第三種電気主任技術者等）及び選任区別（選任、兼任、許可、外部委託（電気保安法人）、外部委託（管理技術者））を記載します。

※主任技術者の免状番号を記載します。

11. 電気工作物の設置者の確認： ☒ 有・無

※設置者の確認の有無を記載する。

※詳報作成後、報告内容について設置者又は所有者・占有者が確認を行い、当支部に提出ください。

※ 備考：用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【 】については統計上必要な項目になりますのでご協力をお願いします